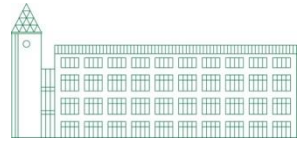


2015年2月27日

新校舎通信 vol.16

山陽女子中学校・高等学校 新校舎係り

きざはしの式を行いました



2月26日（木）、山陽女子中学校・高等学校は、きざはしの式を行いました。

きざはしの式は、1905年（明治38年）から続いている山陽女子の伝統行事です。

今年度は、新校舎が完成したこともあり、新校舎の大階段を使って行いました。

「きざはし」とは階段という意味で、「三年生が先輩から受け継いできた道を、今日を限りに後輩の二年生・一年生に譲り渡す」という思いがこめられています。

三年生代表者が「踏み納め」の言葉を送り、在校生代表が「踏み初め」の言葉を返しました。

その後、三年生が一段一段階段を下り、二年生が三年生のいたところまで階段を上りました。

在校生の皆さん、先輩方から受け継いだ新たな伝統を大切に守り続けながら、山陽女子をいっそう盛り上げていきましょう！！



三年生代表「踏み納め」の言葉



階段を下りる三年生



階段を上る二年生